



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 眞 鍋 淳
 (コ ー ド 番 号 4 5 6 8 東 証 第 1 部)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長 石 田 憲 昭
 T E L 報 道 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1126
 株 式 市 場 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1125

**平成29年3月期通期連結業績予想の修正
 および平成30年3月期通期連結業績予想について**

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想の修正および平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)*	百万円 950,000	百万円 110,000	百万円 110,000	百万円 70,000	円 銭 105.56
今回修正予想(B)	950,000	89,000	88,000	53,000	78.94
増減額(B-A)	0	△21,000	△22,000	△17,000	—
増減率(%)	0.0	△19.1	△20.0	△24.3	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	986,446	130,412	122,388	82,282	119.37

*平成 29 年 1 月 31 日公表値

<修正の理由>

営業利益は、連結子会社の北里第一三共ワクチン株式会社が保有する有形固定資産並びに無形資産の減損損失 219 億円が見込まれることに加え、米国オルメサルタンの売上収益が想定を下回る見込みであるため、前回予想値を 210 億円下回る 890 億円となる見込みです。

営業利益の減益を受け、税引前利益は前回予想値を 220 億円下回る 880 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前回予想値を 170 億円下回る 530 億円となる見込みです。

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

平成 28 年 3 月 31 日に公表しました第 4 期中期経営計画（平成 28 年 4 月～平成 33 年 3 月の 5 ヶ年）の業績目標は、平成 30 年 3 月期通期が売上収益 9,400 億円、営業利益 1,000 億円、そして平成 33 年 3 月期通期は売上収益 1 兆 1,000 億円、営業利益 1,650 億円といたしております。今回、第 4 期中期経営計画の初年度である平成 29 年 3 月期通期の業績予想を下方修正いたしました。一過性の要因によるものであり、第 4 期中期経営計画における今後の業績目標に影響するものではありません。

そのため、平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想について、以下のとおりお知らせすることといたしました。

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
通期	百万円 930,000	百万円 100,000	百万円 100,000	百万円 66,000	円 銭 99.51

売上収益は、国内外におけるエドキサバンの急速な拡大、国内主力製品の持続的な成長、米国ライトポルド社のインジェクタファ어의伸長を図ってまいります。オルメサルタンの特許期間満了の影響が本格化することから、9,300 億円を見込んでおります。

営業利益は、前期には一過性の減益特殊要因が含まれていたこと、事業運営体制の最適化による利益創出力強化の効果及び継続的な経費削減によって、1,000 億円を見込んでおります。

なお、為替レートは 1 米ドル 110 円、1 ユーロ 120 円を前提としております（平成 28 年 3 月 31 日に公表した第 4 期中期経営計画の為替レートは 1 米ドル 120 円、1 ユーロ 130 円を前提としております）。

以 上